



# 堆砂垣作成マニュアル



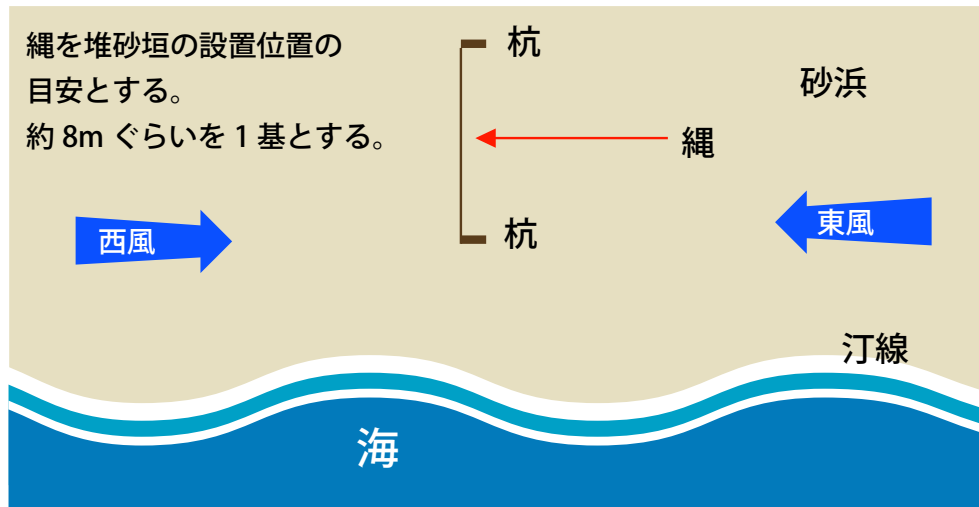
考案：大矢 晃氏

編集：表浜ネットワーク

# 表浜の堆砂垣作成方法

大矢式

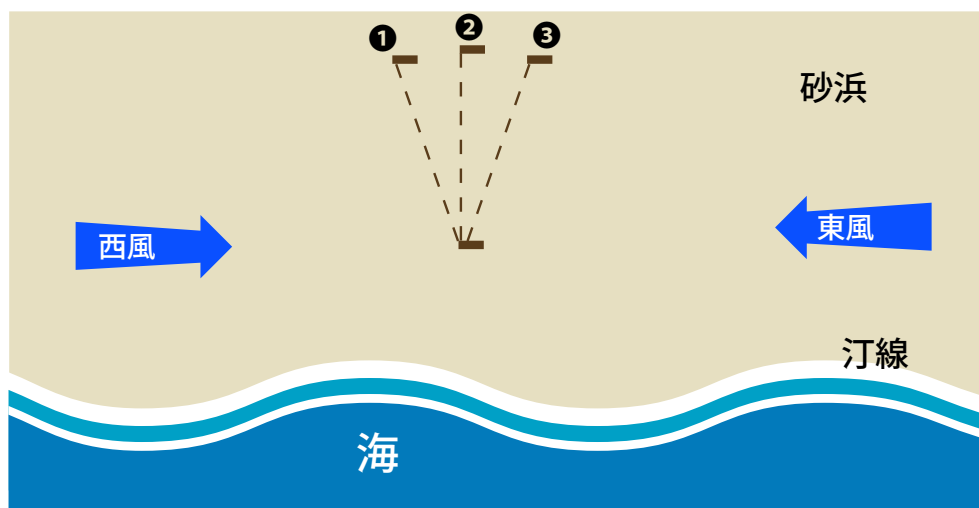
1. 汀線より垂直に堆砂垣を作成するラインに沿って縄などを使い位置を決める。



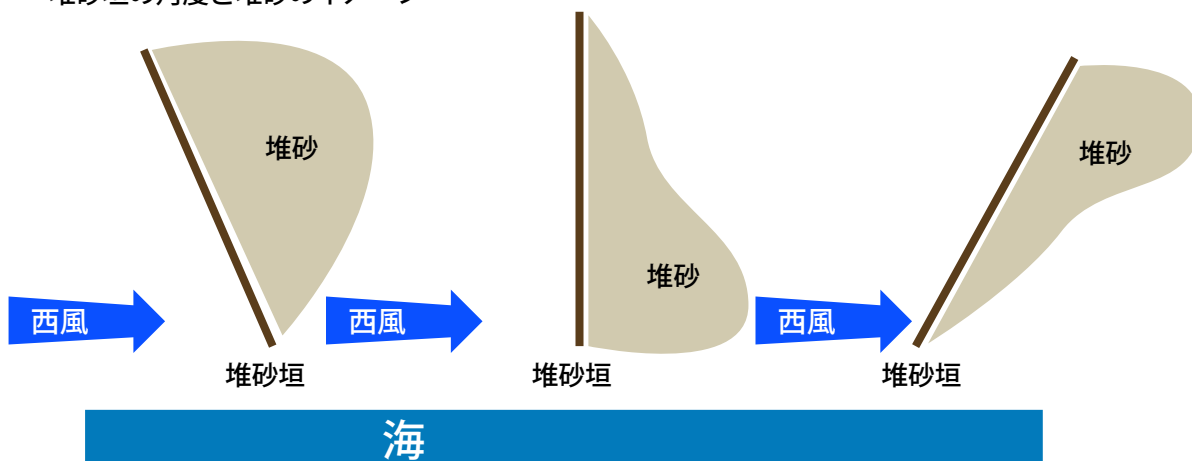
設置角度に寄って飛砂の定着が変化します。

汀線からの距離、風上の地形、後背の地形など風の通りによって堆砂が変わります。

連続して堆砂垣を設置する場合は風上の堆砂垣も影響します。



堆砂垣の角度と堆砂のイメージ

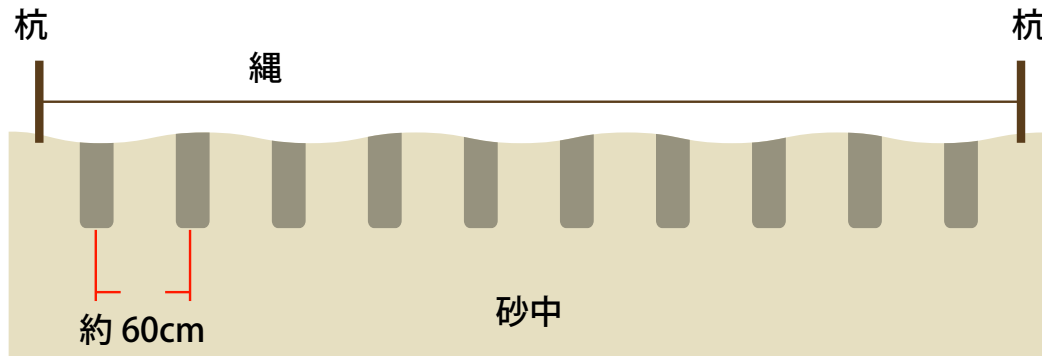


以上の要因を考慮し、それぞれの海岸の特性・地形に合わせた設置を試みる。

堆砂垣は局所的な堆砂を狙い、砂が不足がちな地形を補うものとする。

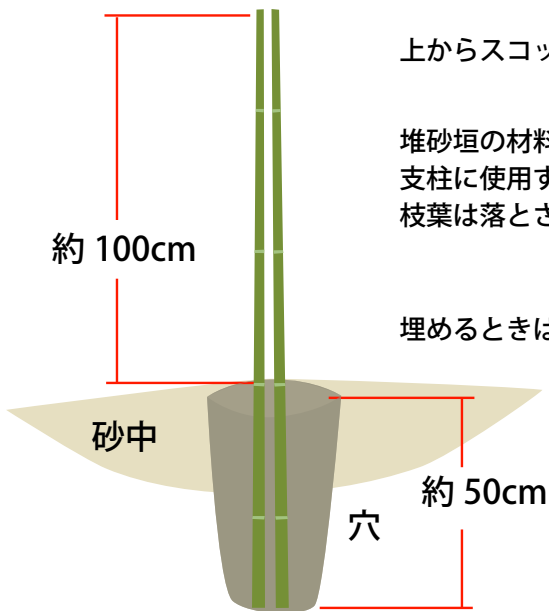
# 表浜の堆砂垣作成方法

## II. 設置



目標とした縄に沿って約 60cm 間隔で深さ約 50cm の穴を掘る。

### 支柱の打ち込み

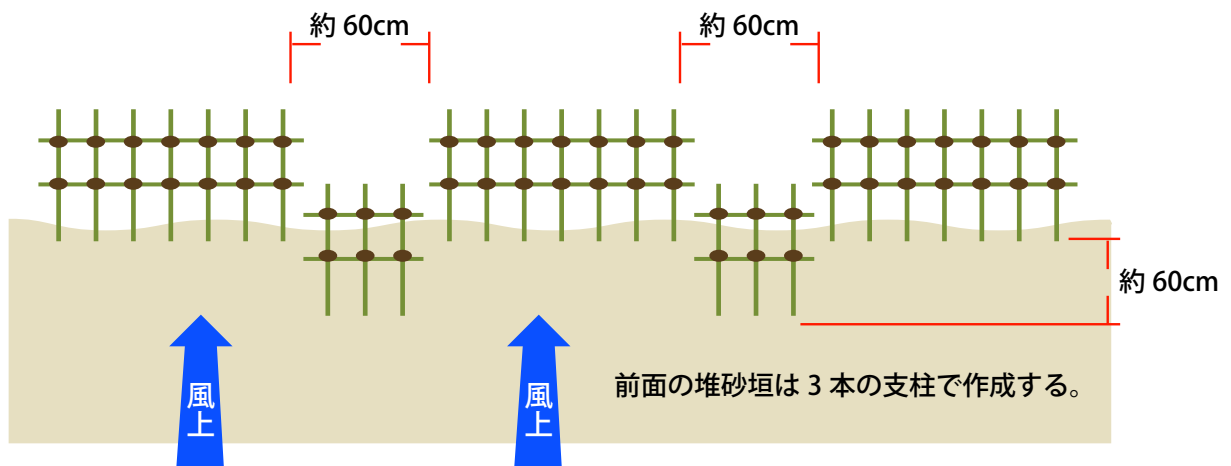


上からスコップなどでたたき軽く打ち込む。

堆砂垣の材料のメダケ  
支柱に使用するものは太めの物を使う。  
枝葉は落とさず使用する。

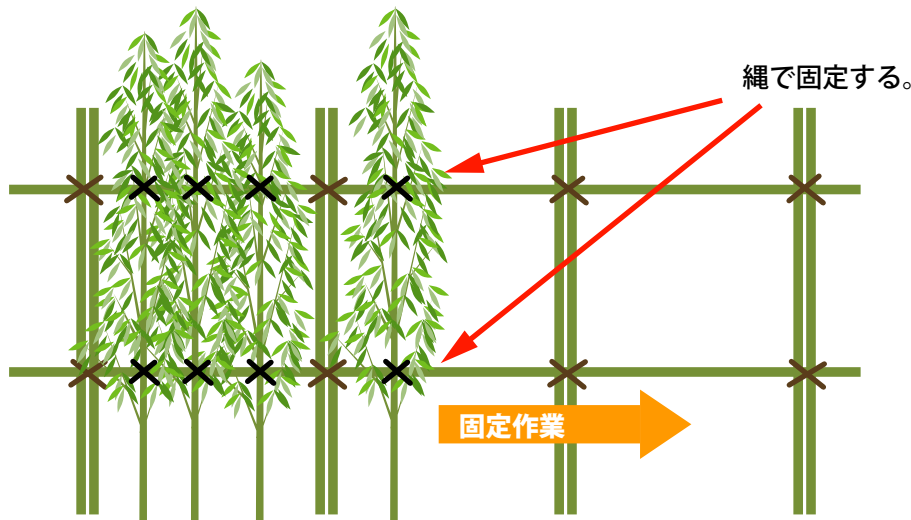
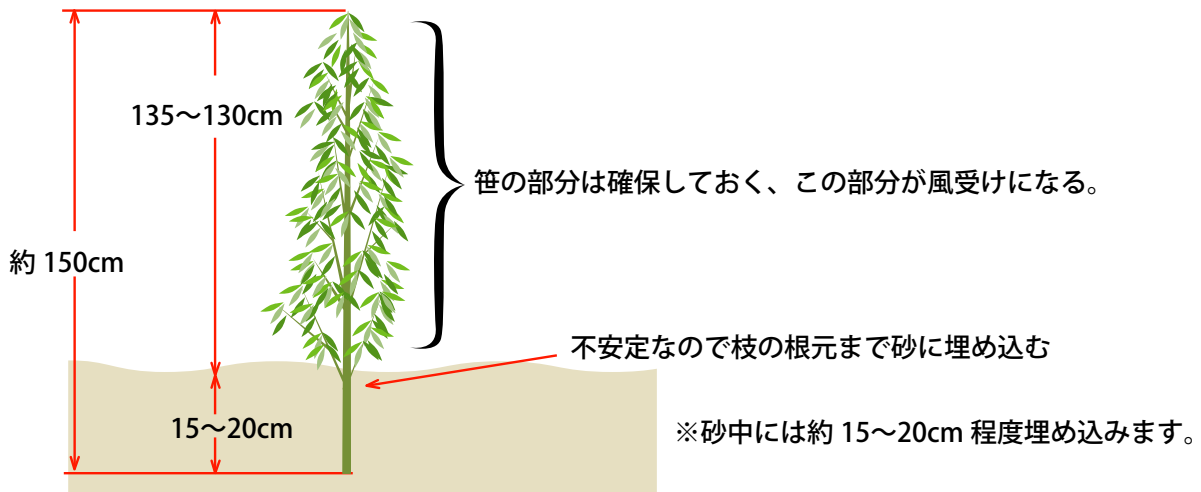
埋めるときは砂を戻し、足で踏み固める。

支柱に横柱を組み縄で固定する。7カ所の支柱で1ユニットとして、次のユニットの間に60cm 程度の間隔を開けるようにして堆砂垣を設置する。



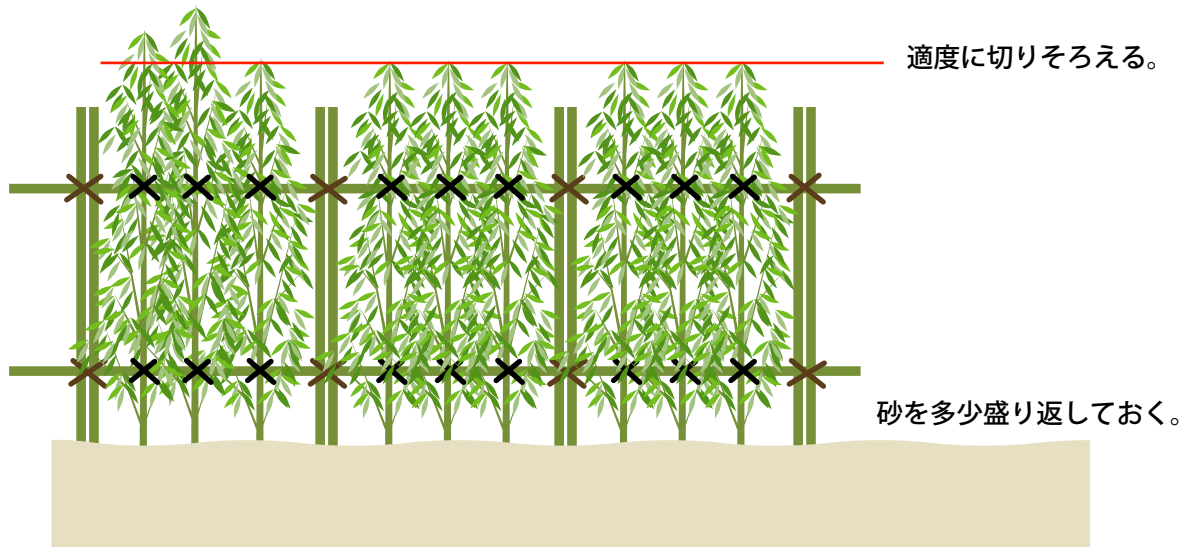
# 表浜の堆砂垣作成方法

## III. 堆砂垣の作成方法 (風受けの部分の設置)



※うまく砂中に差し込めない時は多少手で掘り返し固定する。

上記のように風受け用の枝を順序よく植え込み 2 カ所を縄で固定する。  
風受けの葉の部分が重なり合うぐらいの密度が望ましい。



# 堆砂垣の1ユニット寸法

